

優秀賞

# ぼくのあそびがお

埼玉県さいたま市立大谷場東小学校一年 柴山 拓士

五がつ十五にち、がっこうであさがおのたねまきをしたよ。ようちえんではやらなかったし、じょうずにできるかドキドキしたけど、「おおきくなって、げんきななをさかせてね」と、こころのなかでいいながらまいたよ。

一しゅうかんぐらいたって、めがでてきたからホッとしたよ。ぼくのはみんなのよりもおおきなめだったから、いきぶんになって、こっそりガツポーズをしたんだよ。

やすみじかんに、ともだちといっしょにみずやりにいってたら、どんどんはっぱがでてきて、ぼくのうえきばちはげんきいっぱいのはっぱだらけになったよ。でも、いっになってもぼくのだけつぼみがないから、「このままだながさかかなかったらどうしよう」とか、「えらんだたねがわるかったのかな？」とか、「びょうきになっちゃったのかな？」

なつやすみになったあるひ、ベランダにいるおかあさんがいつもよりおおきなこえでぼくをよんだから、びっくりしていそいでいってみると、まちにまっていたつぼみができていたよ。すぐすぐくうれしくて、ぼくはそのばでなんかいもジャンプをしながら、

「やったー！つぼみができたぞー！」と、おかあさんのこえよりもおおきなこえでさけんでいたよ。やっとぼくのねがいがかかって

「あさがおのかみさま、ありがとう！」とそらにむかっていったら、おとうさん、おかあさん、おねえちゃんがおえをそろえてわらったから、つられていっしょにわらったよ。

七がつ二十一にち、ついにはながさいたよ。おもっていたよりおおきくて、あかむらさきいろで、ぶどうみただったよ。はながさくまでじかんがかかったのんびりやのあさがおだったけど、たくさんさいてくれて、おしばな・たたきぞめ・いろみずもできて、ぼくはだいまんぞくだよ。あとはむしさんがじょうずにかふんをはこんでくれたら、たねができるかな。そのたねで、またらいねんも「ぼくののんびりやのあさがお」をたいせつにそだててあげた

とか、どんどんふあんなきもちになったよ。そして、ともだちが、げんきのないぼくをしんぱいしてくれて、

「ちゃんとみずをあげてるからだいじょうぶだよ！」

といってくれたので、ぼくのころにかかっていたどんよりぐもが、どこかとおくにとんでいったよ。

じゅぎょうで、たたきぞめをすることになったとき、せんせいは、

「ともだちのはなをつかってもいいよ。」

といってくれたけど、やっぱりぼくは、ぼくのはなでやりたいから、さくまでまつことにしたんだ。でも、ざんねんだけど、つぼみもできないままうえきばちをいえにもってかえることになったよ。くやしかったけど、それからぼくは、あきらめずにまいにちみずをあげつづけたよ。

いな。

